

令和2年度の重点課題

- 本校は、バレーボールやソフトボール、サッカー、スナッグゴルフなどのスポーツ少年団の活動が盛んである。また、休憩時間には外でサッカーやドッジボール、おにごっこ、なわとび、一輪車のりなどをして楽しく遊ぶ児童が多い。そのため、日常的に運動に取り組んでいる児童とそうでない児童の体力差が開き、二極化の傾向にある。
- 一人一人がボールを投げる機会が少なく、「ボール投げ」の向上が図りにくい。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- 「目標設定」と「振り返り」を常に取り入れ、意識させた活動（各担任）
 - ・自らが自分の目標を決めて体育科授業や新体力テスト等のぞむ。
- 体育科での取組（体育主任を中心に、各担任）
 - ・体力向上と運動の上達のため、体育時間の初めにサーキット運動を行い、短い距離を全力で走る運動を取り入れる。
 - ・活動の場を工夫し、運動量の確保に努める。
 - ・健康安全部を中心に体力や運動能力を上げる指導の共有化を図る。
- 体育朝会での取組（健康安全部を中心にオンラインで実施）
 - ・体力向上のための具体的な取組や縄跳びの技の紹介等を行い、外遊びの啓発及び習慣化を図る。
- ドッジボール大会・持久走記録会による体力の向上（各担任）
 - ・児童会行事でドッジボール大会（9月末）を、学校行事で持久走大会を実施する。練習を通して投力・持久力などの記録向上を図る。
- 家庭との連携
 - ・体力づくりを家庭学習として行わせることで、継続して体力の向上に取り組ませる。

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.15	19.73	36.65	43.90	62.10	9.43	158.15	23.69	57.13	第5学年	16.88	17.41	35.85	41.21	44.94	9.79	149.03	15.12	56.15

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.15	19.73	36.65	43.90	62.10	9.43	158.15	23.69	57.13	第5学年	16.88	17.41	35.85	41.21	44.94	9.79	149.03	15.12	56.15

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	84.1	11.4	4.5	0.0	第5学年	70.59	23.53	5.88	0.00

運動や運動遊びに親しむ児童の割合を高める。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- サーキット運動の実施
 - ・ジョギング、スキップ、ダッシュやラダートレーニングの動きなどいろいろな走りを取り入れる。⇒筋パワー、敏捷性、巧緻性を高める。
 - ・登り棒、雲梯などを取り入れる。⇒筋パワーを高める。
 - ・しっぽとり、ねことねずみ、ふえ鬼などの運動遊びを短時間で実施する。⇒筋パワー、敏捷性を高める。
- 準備体操にストレッチを取り入れる。ジャックナイフストレッチを全校で実施する。家庭学習でも継続して実施する。⇒柔軟性を高める。

体育の授業以外で行う取組内容

- ドッジボール大会の計画・実施
 - ・低中高学年ごとに、体育科の学習や外遊び、児童会活動を関連して実施する。
- なわとびの奨励
 - ・秋季から冬季にかけて縄跳びの個人目標を設定させ自主的な取組を計画・実施する。
- 体力づくりの家庭学習の実施
 - ・保護者に協力を要請し、ストレッチや上体起こしなどを主に家庭で日常的に取り組む。
- ロング昼休憩での外遊びの奨励
 - ・運動や運動遊びの楽しさと学級づくりを結び付け楽しさを味わわせる。

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることが好きと肯定的に答えた児童の割合が高い。一方、否定的に答えた児童が4.3%いる。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることが好きと肯定的に答えた児童の割合が高い。一方、否定的に答えた児童が5.88%いる。男子よりも消極的な傾向がみられる。

体力面での課題

- 男子
 - ・上体起こし、50m走。
- 女子
 - ・上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走。

令和4年度の重点目標値

- 次の4種目を主な課題とし、県平均値や全国平均値を上回るようにする。
- ◎「長座体前屈」県平均値や全国平均値を上回る学年を42%（5/12）から75%（9/12）以上とする。
 - ◎「50m走」県平均値や全国平均値を上回る学年を42%（5/12）から75%（9/12）以上とする。
 - 「上体起こし」県平均値や全国平均値を上回る学年を50%（6/12）から75%（9/12）以上とする。
 - 「反復横跳び」県平均値や全国平均値を上回る学年を42%（5/12）75%（9/12）以上とする。
- 運動や運動遊びに親しむ児童の割合を高める。（新体力テスト意識調査）
- 「ほとんど毎日」の割合を、36%から40%以上とする。
 - 「ほとんど毎日」「ときどき」を合わせた割合を、82%から85%以上とする

